

## ホワイトカラー労働者にとっての「大学教育の効用」の検証 —「学び習慣仮説」の枠組みを用いて

### Examining the “Utility of College Education” for White-Collar Workers: Using the Framework of the “Learning Habits Hypothesis

下記の通り、公開研究会をオンラインにて開催しますので、ご案内いたします。

■日時: 2023年3月24日(金) 15:00~17:00

■場所: Zoomセミナーの為、全てオンラインで開催いたします。  
※お申込みされた方に参加用URLを前日までにご連絡いたします

■講演者: 木村 弘志(東京大学)、井芹 俊太郎(神田外語大学)

■言語: 日本語

■概要: 「大学教育の効用」のひとつとして、学生時代の熱心な学習は就業後の継続した学習につながる「学び習慣」を形成するという、「学び習慣仮説」が提唱・検証されてきた。講演者は、先行研究のレビューを通じて、過去の学習と現在の学習を媒介する要因に、「学習した内容を仕事に活用した経験」があると考え、既存の「学び習慣仮説」モデルを修正したモデルを構築した。

本研究では、上記モデルの検証を行うために実施したインターネットモニター調査の概要と、同調査データの分析結果・解釈・考察について報告を行う。本報告の目的は、調査・分析結果の共有と、それに基づく参加者との議論を通じて、既存の「学び習慣仮説」を精緻化することである。併せて、本研究によるホワイトカラー労働者の結果を、大学経営の主要な担い手の一員である大学職員に拡張する可能性と、その限界、今後求められる調査・研究についても考察・議論する。

#### ■その他

・本セミナーについては、ウェブ会議システム(Zoomミーティングを予定)を使用して実施いたします。開催時刻までにインターネット環境、PC等端末(Webカメラ、マイクが必要)のご用意をお願いいたします。

お申し込みはセンターHPよりお願いします。

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>

